

障がい福祉の取組に関する アンケート結果(速報)

第5期障がい者計画・障がい者支援プラン(第8期障がい福祉計画・第4期障がい児福祉計画)

○社会福祉審議会障がい者施策推進専門分科会計画策定作業部会の開催

第1回作業部会 開催日:令和7年10月10日(金曜)
議題:障がい者計画アンケート案の検討

第2回作業部会 開催日:令和7年10月31日(金曜)
議題:障がい者支援プランアンケート案の検討

第3回作業部会 開催日:令和7年11月28日(金曜)
議題:障がい者計画及び障がい者支援プランアンケート案最終確認

第4回作業部会 開催日:令和7年12月19日(金曜)
議題:事業所及び団体アンケート案の検討

【作業部会での主な意見】

- 希望する暮らしが最初からグループホームありきの人はいない。
本当に希望する暮らし方を聞いてほしい。
- 障がい福祉サービス利用の困りごとについて、サービスを利用していない人にも聞くべきでは。
- 災害時は、障がいがあること、配慮が必要なことを周囲に知ってほしい。
- 事業所の緊急対応について、各事業所の実態を知りたい。

1 目的

計画策定の基礎資料とするため、市内にお住まいの障がいのある方を対象に、生活や障がい福祉サービス利用の状況、福祉施策に対する考え等をうかがうことを目的として実施する。

2 実施方法

	アンケート名	対象	対象者内訳	設問数	回答数	ねらい
1	障がい者計画アンケート(障がい者・児)	2,000人	手帳所有者(身体、知的、精神) 1,626人 自立支援医療受給者 286人 難病患者 88人	36問	907件 (45.4%)	障がいのある方の生活の状況や、療育、就労、安心・安全等に関する幅広い福祉施策に対する考えを把握する。
2	障がい者支援プランアンケート(18歳以上)(障がい福祉計画)	2,000人	障がい福祉サービス利用者 1,740人 難病患者 90人 視覚・聴覚障がい者 170人	29問	946件 (47.3%)	障がい福祉サービスを利用する方の生活の状況や、サービスの利用状況、福祉施策に対する考えを把握する。
3	障がい者支援プランアンケート(18歳未満)(障がい児福祉計画)	400人	障がい児通所サービス利用者 又は障がい者手帳所有者(身体、知的、精神) 400人	38問	201件 (50.3%)	
4	事業所アンケート	294事業所 (200法人)	—	13問	111件	少数の障がい種別にかかる当事者の意見を把握するため、支援ニーズについて定性的に把握する。
5	団体アンケート	15団体	—	9問	7件	支援体制について、現状や今後の課題を定性的に把握するため、主な重点施策に関する考えを把握する。

アンケート項目

1.障がい者計画アンケート (障がい者・児) 36問	2.障がい者支援プランアンケート (18歳以上) (障がい福祉計画) 29問	3.障がい者支援プランアンケート (18歳未満) (障がい児福祉計画) 38問	4.事業所アンケート 13問	5.団体アンケート 9問
あなたについて (回答者の属性)	あなたについて (回答者の属性)	お子さん(ご本人)について (回答者の属性)	<ul style="list-style-type: none"> ・利用者受入れ状況 ・緊急対応 ・人材確保・定着・養成 ・重度障がい児・者の受入れ 	記述式 ・希望する暮らし ・情報取得 ・相談 ・災害
医療について	—	—		
暮らしについて	暮らしについて	生活環境について		
—	—	将来の暮らしについて		
日中活動や仕事について	日中活動や仕事について	平日の日中活動について		
—	—	療育、発達支援について		
—	—	保護者の社会参加の状況について		
情報について	情報について	情報や相談について		
相談について	相談について			
障がい者の人権や障がい者理解について	障がい者の人権や障がい者理解について	障がい児・者の人権や障がい児・者理解について		
災害時について	災害時について	災害時について		
—	福祉サービスについて	障がい児通所サービス等について		
障がい者施策全般について	障がい者施策全般について	障がい児・者施策全般について		

計画策定に向けたアンケート結果概要

	アンケート・調査	主な傾向・意見
1	障がい者計画アンケート (障がい者・児)	<ul style="list-style-type: none"> ・本人回答の割合が多い ・相談支援への期待と不安 ・外出・社会参加への課題 <p style="text-align: right;">→ 生活の質に関わる課題が中心</p>
2	障がい者支援プランアンケート (18歳以上) (障がい福祉計画)	<ul style="list-style-type: none"> ・現在のサービス利用継続希望が高い ・家族依存度が高い <p style="text-align: right;">→ サービス整備につなげていくポイント</p>
3	障がい者支援プランアンケート (18歳未満) (障がい児福祉計画)	<ul style="list-style-type: none"> ・障がい児通所サービスの量的拡大の要望が大きい ・わかりやすい情報発信・提供を望む声が多い ・学校、園の職員への専門性向上のニーズが高い <p style="text-align: right;">→ 切れ目のない支援への期待</p>
4	事業所アンケート	<ul style="list-style-type: none"> ・人材確保が困難 ・医療的ケア・重度対応の難しさ ・職員定着の課題 ・多機関連携の負担増 <p style="text-align: right;">→ 支援体制側の逼迫が明確</p>
5	団体アンケート	<ul style="list-style-type: none"> ・親なき後・将来不安 ・相談支援の専門性の差、情報格差 ・住まい・生活継続への不安が大きい <p style="text-align: right;">→ 人材確保、支援の質の維持への懸念</p>

共通課題

- 親なき後・将来不安への対応
- 相談支援体制の強化
- 人材確保と支援の質
- 情報アクセシビリティの改善
- 地域生活を支える居住基盤の整備

さらに分析していきたい点

- 希望する暮らしについて、家族と同居→ひとり暮らし→グループホームの順の結果。グループホームを希望する人のうち、3年以内の入居を希望する人は全体の約3割。
- 必要な支援として、緊急時対応、相談支援体制、経済的支援が上位。障がい種別ごとのニーズ把握が必要。

1.障がい者計画アンケート(障がい者・児)結果(速報)

障がい種別ごとの課題の傾向

身体障がいの課題の特徴

- ① 外出・移動・バリアフリーに関する困りごとが他種別より高い
→ 交通機関、道路、施設の段差等への不便感が顕著
 - ② 災害時の不安(電源・医療物品・避難困難)が高い
→ 医療機器使用者や車いす利用者の避難課題が明確
- ▶ ハード整備 + 災害時の個別支援計画活用の具体化

知的障がいの課題の特徴

- ① 将来の住まい(グループホーム)への関心が高い
→ 「親なき後」への不安が強い
一方、3年以内のグループホームへのニーズは低い。
 - ② 日中活動・受入事業所の不足への課題意識が高い
→ 強度行動障がいに対応した事業所の不足が背景
- ▶ 住まいの量的整備 + 重度に対応したサービスの質的強化

精神障がいの課題の特徴

- ① 就労に関する困難感が他種別より高い
→ 働きづらさ、配慮不足の課題
 - ② 差別・理解不足に関する不安が高い
→ 見えない障がいゆえの社会的孤立
 - ③ 経済的不安
- ▶ 就労環境の整備 + 理解啓発の取組の強化

難病の課題の特徴

- ① 医療と福祉の連携ニーズが高い
→ 症状が変動した場合の柔軟な対応が必要
 - ② 経済的不安・将来不安が相対的に高い
→ 長期療養と就労困難の影響
- ▶ 医療連携 + 所得支援の横断的な施策の検討

2.障がい者支援プランアンケート(18歳以上)(障がい福祉計画)結果(速報)

障がい種別ごとの課題の傾向

身体障がいの課題の特徴

- ① 居宅介護・訪問系サービスの利用割合が高い
→ 在宅生活への支援ニーズが中心
 - ② 移動支援・外出支援への不満が一定数見られる
→ 量よりも“使い勝手”が課題
- ▶ 在宅生活への支援の安定化

精神障がいの課題の特徴

- ① 就労系サービスの利用割合が高い
→ 就労継続支援B型等が中心
 - ② 相談支援ニーズが高い
→ 症状の変動・不安定さへの伴走型の支援が必要
- ▶ 就労定着支援や相談体制の強化

知的障がいの課題の特徴

- ① 生活介護・グループホームの利用割合が高い
→ 地域生活型の支援が中心
 - ② ショートステイ・緊急対応ニーズが高い
→ 家族介護が多いことが背景にある
- ▶ 地域生活支援拠点の機能強化

難病の課題の特徴

- ① 医療系サービスとの併用が特徴的
→ 訪問看護等の利用割合が高め
 - ② サービス情報入手の困難感が見られる
- ▶ ワンストップの情報提供体制

3.障がい者支援プランアンケート(18歳未満)(障がい児福祉計画)結果(速報)

障がい児支援に関する課題と傾向

①障がい児通所サービスの量的要望が大きい

問「障がい児通所サービス等について、気になるところ」



【児童発達支援】

- ・利用したいサービスに空きがない(44.6%)
- ・利用したい日や時間に利用できない(40.0%)

【放課後等デイサービス】

- ・利用したいサービスに空きがない(45.0%)
- ・利用したい日や時間に利用できない(42.5%)

②わかりやすい情報発信・提供を望む声が多い

問「乳幼児期の健診や療育に関してどのようなことを望みますか」



- ・福祉サービスや療育についての情報を提供し、わかりやすい説明をしてほしい(32.8%)



問「市内の療育に関する相談について望むことがありますか」



- ・相談機関の情報を提供してほしい(37.8%)

問「お子さん(ご本人)が、将来成人した後の充実した暮らし方を実現するために、必要なことは何ですか」



- ・どんな支援が受けられるか情報が得られること(39.3%)

③学校、園の職員への専門性向上のニーズが高い

問「あなたは、障がいのある児童がこども園、保育所(園)、幼稚園へ通うためにどのようなことが必要だと思いますか」



- ・要配慮、発達支援保育を充実する(62.7%)
- ・保育士(教職員)の専門性を高める(62.2%)

問「あなたは、障がいのある人が校区の小・中学校へ通うためにどのようなことが必要だと思いますか」



- ・障がいの程度や特性に応じた指導や支援を充実する(69.2%)
- ・教職員の専門性を高める(58.2%)

調査結果の概要(ポイント)

4.事業所アンケート

共通課題

- ・人材不足と制度の限界が、障がい児・者のよりよい生活の実現を阻んでいる

支援の質を高めるために必要な取組み

- ・支援者の生活と働く環境を守ること
- ・本人中心の支援と切れ目のない体制づくり
- ・地域・行政・関係機関が一体となった支え合いの仕組みづくり

5.団体アンケート

共通課題

- ・重度障がい者・医療的ケア児者の地域生活をどう支えるか
- ・親なき後を見据えた持続可能な生活基盤の整備
- ・相談・緊急対応のワンストップ体制の構築

今後の重要な政策課題

- ・医療と福祉を一体的に備えた地域拠点の整備
- ・グループホームの量的・質的拡充
- ・専門人材の確保と育成